



2026.5.7 第1号

森田 博

3年「植物を育てよう」
種まき

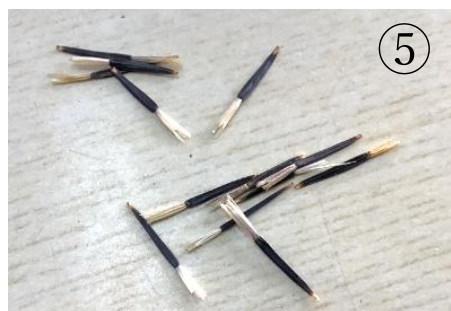
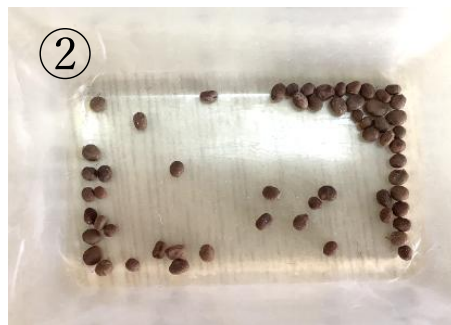


「CST 理科通信」を今年も発行します!!

今年度から、滋賀県認定CST（コア・サイエンス・ティーチャー）として、主に3年生の理科を中心に、授業の取組や児童の学習の様子を発信していきたいと思っております。担任をしながらになりますので、不定期ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、「3アウトチェンジ」の通信タイトルですが、「3アウト」を「3合うと」と読み、理科には3つの事柄がピッタリと合うことで、「チェンジ」する。つまり「変化」が起きるという意味を込めました。「変化」することが理科の楽しさでもあり、不思議なことです。理科の観察や実験において、3つ程度の条件が整ったり、様々な条件が異なったりすると、大きな変化につながる場合があります。子どもたちと1年間の理科学習を通して、自然の不思議に迫りながら、植物を育てる心や生き物と触れ合う優しさを高め、地球環境への意識を高め、「変化」することへの探究心を育てていきたいと思っております。

いろいろな野菜や花の種をまきました。



- ①オクラ（青いのは薬）
- ②ハウセンカ
- ③ピーマン
- ④ひまわり
- ⑤マリーゴールド

1 種を土にまく 2 気温が20度以上 3 水やり でチェンジ!!

まず発芽したのは、⑤のマリーゴールドでした。自分がまいた種が芽を出してとてもうれしそうでした。無事芽が出てよかったです。最初に出た2枚の葉を、「子葉（しょう）」と呼ぶことを覚えました。1週間でどれくらい成長するか次の観察が楽しみです。（GW明け予定）



5種類から児童が育てたいものを選び、ひまわり以外は2～3粒まきました。大きく成長したものを残し残りは根の観察をするために間引きをします。

雨の日以外に、土がかわいた時点で水やりをします。

